

1. 組織名

日本商工会議所

2. 提出意見①

該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

意見

UL規格を取得できないため、一部製品を米国に輸出できない。規格の相互認証、あるいはUL規格取得を輸入の条件としないように要望する。

2. 提出意見②

該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

意見

米国に対し、早期にメートル法を採用するよう交渉願いたい。中小企業にとってはインチへの対応は負担である。

2. 提出意見③

該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

意見

米国: <CAFE規制>

CAFE規制の下では、国産車と輸入車を区別し、それぞれ別個に平均燃費を計算するとされているが、燃費の悪い国産大型車を取り扱う会社がCAFE基準値を達成するためには、燃費の良い輸入小型車の取扱を増やしても意味が無く、燃費の良い国産小型車の取扱を増やして初めて効果が出る仕組みになっており、結果的に国産小型車に比べて輸入小型車を競争上不利な立場に置くなど、国産車と輸入車とを別集団として計算する当規制は内外の同種の製品を差別しているため、GATT第3条4項違反となっている。

国産車と輸入車の区別をせずに、販売台数全体についてCAFE規制値を導入することを望む。

## 2. 提出意見④

### 該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

### 意見

米国:<ラベリング法>

米国で販売される乗用車・軽トラックの国産(米・加)比率表示のレベルを義務付けるもので、バイアメリカン法とも見なされる。

また、米・加以外の部品の使用が多い外国系メーカーや輸入車ディーラーに膨大な負担を強いている。

上記現状を受け、ラベリング法の廃止を要望する。

## 2. 提出意見⑤

### 該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

### 意見

豪州の標準規格であるAustralian Standard特有の要求で、JIS等の他国標準規格適応品を排除する分野がある。これは、実質的な参入障壁であり、コストも割高となる。(Ex. NSW州の鉄道車両規格や鉄道レールの規格等) 事実上の非関税障壁であり、規格共通化の実現を望む。

## 2. 提出意見⑥

### 該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

### 意見

食品の包装容器、ラップ等、直接食品に接する物は、日本では「日本ポリオレフィン協会」の認定が必要。海外では世界的標準の米国FDAの認定取得で殆どの国が承認。この様な使用用途毎の独自基準は出来る限り世界基準に合わせて、貿易拡大の環境整備を進めて欲しい。

## 2. 提出意見⑦

### 該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

### 意見

化学物質に対してEUでは、RoHS規制やREACH規制がある。この対応は非常に労力を要する。TPP参加国でも化学物質に対する統一した規制を設け、どこか一ヶ国で登録すれば参加国どこでも有効になる制度を新設し、これを世界基準としてEUとも交渉して欲しい。

## 2. 提出意見⑧

### 該当する交渉分野

TBT(貿易の技術的障壁)

### 意見

現在、海外市場への展開を開始するに当たり、中小企業として乗り越えなければならない諸々の規格そのものは必要不可欠ですが、ともするとその設置国に有利な内容として、他国はその規格をクリアーする為に、膨大な経費が掛かってしまう。